

# コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現

富山県富山市（2018年度選定）

## 1. 地域の特徴と課題及び目標

富山市は、多様な地勢、自然資源に恵まれ、医薬品等を中心としたものづくり産業が盛んな中核都市として発展してきた。人口減少、少子・超高齢社会の進展に加え、令和6年能登半島地震からの復興・復旧など本市を取り巻く課題がある中、将来にわたって持続可能な都市を目指すことが必要不可欠であり、これまで進めてきたコンパクトシティ戦略を基盤として、スマートシティの推進等により、経済・社会・環境の三側面に一層配慮しながら、SDGsの各ゴールの同時解決を図る。

## 2. 関連するゴール



## 3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)

- ①都市のかたち：公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり、多様な公共交通網の整備、各拠点の都市機能集積
- ②市民生活：地域包括ケアの推進、地域共生社会の推進、メンタルヘルスの向上と質の高いライフ・ワークスタイルの構築
- ③エネルギー：化石燃料依存からの脱却と脱炭素社会の実現、再生可能エネルギーの導入拡大・活用推進と都市レジリエンスの向上
- ④産業：イノベーション創出に向けた基盤整備、医薬品関連産業の集積、農林水産業の活性化
- ⑤都市・地域：包括的なつながりの再構築、地域におけるステークホルダーの連携強化、社会情勢の変化に対応した学校教育の推進

## 4. 自治体SDGs推進等に向けた取組

2023年度は、前年度に策定した「スマートシティ推進ビジョン」に基づき、産学官で構成する推進プラットフォームを新たに設立（2023年度末時点で約150社加入）し、デジタル技術やデータ等を利活用したスマートシティ施策を進めるための基盤を整備したほか、5つの推進分野において、様々な取組を行った。

スマートシティ関連施策の主な取組として、新たなモビリティサービスとして、中山間地等におけるAIオンデマンド交通システムの導入や自動運転車両の実証実験を行うなど、本格導入に向けて効果を検証した。

また、市が市内のほぼ全域に整備したヒト・モノに関する様々なデータを収集できる「センサーネットワーク」を民間事業者等に無償提供し、新産業の創出等に繋げる実証実験を公募（7事業を採択）したほか、スマート農業の取組において、直進・旋回アシスト機能を備えたスマート農機の導入を経営事業体に支援（8件）した。

## 5. 取組推進の工夫

市域全体での将来的な自走に向けて、市主導の各種取組にとどまらず、企業等との包括連携協定に基づく協働プロジェクトの実施や市民団体との協働によるSDGs普及展開に取り組んでいる。特に、普及展開にあたっては、「知る・理解する・実践する」の3段階取組を通じて、SDGsの担い手育成や企業等のSDGs活動の支援を行っている。

## 6. 取組成果

5つの推進分野における各種事業の継続的实施により、それぞれのKPIは概ね達成に向けて前進している。

特に、「中心商業地区及び富山駅周辺地区の歩行者通行量」（都市のかたち）は、富山駅周辺の企業・まちづくり団体・交通事業者によって構成するまちづくりプラットフォームによる賑わいづくりにより、イベントの機会が増加したため、目標値を大きく上回った。

また、「自主防災組織の組織率」（エネルギー）は、近年、激甚化する災害が発生している中、防災情報の発信や防災講座の開催等を通して、組織率が年々増加しており、市民一人ひとりの防災意識の向上を図り、都市レジリエンスの強化に取り組んでいる。

## 7. 今後の展開策

新たに設立した「スマートシティ推進プラットフォーム」の会員企業が実施する、新たなサービス提供を目的とした実証事業（2024年度：3事業）に対して支援するなど、引き続き、「スマートシティ推進ビジョン」に基づき、コンパクトシティ政策とスマートシティ政策を融合させた取組を推進し、経済、社会、環境の三側面の課題の同時解決を目指す。

また、SDGsの普及展開にあたっては、SDGs目標達成年である2030年までの折り返しを過ぎ、SDGs未来都市としての取組の拡大・加速化を図るため、従来の取組をブラッシュアップし、中小企業及び将来を担う若者世代への普及に重点を置き、SDGsに取り組む企業と連携しながら、ビジネスマッチングを図る交流会の実施や新たな普及展開ツールとして、市民や企業・団体と協働し、市オリジナルのSDGs学習ボードゲームを制作する。

## 8. 他地域への展開状況（普及効果）

地元新聞を活用した定期的なSDGs特集記事の掲載やインターネットやSNS等の各種媒体など活用して、市民や市内企業に留まらず、あらゆるステークホルダーに向けて広域的な普及展開を行った。また、多くの方が参加できるSDGs関連イベント（ワークショップ含む）を開催し、市民を問わず、SDGs活動の裾野を広げるサポーターや推進コミュニケーターの登録・育成を図った。また、富山広域連携中枢都市圏内の市町村と連携して職員研修やイベント等を開催し、広域的なSDGsの普及展開を図った。